

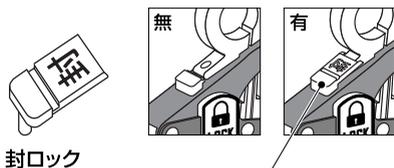


### 3 消火薬剤、及び詰め替えについて

- 消火薬剤には著しい毒性はありません。しかし大量に吸い込むと危険な場合がありますので、ご注意ください。
- 消火薬剤が誤って目に入ったときは、絶対にこすらずすみやかに流水で15分以上洗い流し、必ず眼科医の診察を受けてください。
- 消火薬剤のかかった食物は食べないでください。
- 飛散した消火薬剤をそのまま放置しておく、薬剤が湿気を帯びてカビが発生したり、金属類を腐食させることがあります。また、電気器具の絶縁を低下させますので、すみやかに清掃してください。
- 消火器使用後の薬剤の詰め替えは、お求めになった販売店や当社営業所など専門の有資格者（消防設備士）によって行ってください。
- 消火薬剤の詰め替えは、当社製粉末（ABC）消火薬剤を充てんしてください。
- 訓練に使用するなど、何度も詰め替えをする消火器の使用限度は10回です。それ以上詰め替えするときはキャップ、口金のネジ部が傷んで危険な場合があります。お求めになった販売店や当社営業所など専門の有資格者の判断を求めてください。

### 5 日頃の管理

- 試し放射はしないでください。放射後そのまま設置されますと火災の際に使用できません。
- 一度放射されたら、ただちに消火薬剤を詰め替えてください。（3を参照）
- 定期的に点検し、ゴミやホコリを取り除いてください。
- 安全栓がレバー支えを立てた状態で確実にセットされ封ロックもしくは封がほどこされているかを確認し、また、未使用マーク（ロックマーク)が取り付けられているかを確認してください。
- 封ロックのとれているもの、もしくは封のないもの、封が破れているもの、未使用マーク（ロックマーク)のはずれているものは専門の業者による点検が必要です。
- 消火器を清掃するときは、ぬるま湯か水でしぼった布（ぞうきんなど）で汚れをふき取ってください。水を直接かけて洗うと、すきまなどに水が入りサビや腐食の原因になることがあります。また、有機溶剤（シンナー、ベンジンなど）や洗剤は使用しないでください。
- 消火器の部品などは、勝手にゆるめたりしないでください。



\*法的設置義務のあるところでは、消防法に基づく定期点検を受けてください。

### 6 使用上のご注意

#### 消火器は圧力容器です

##### ⚠ 危険

- 破裂のおそれがありますので下記の項目をお守りください。
- 錆、傷、変形、キャップのゆるみのあるものは絶対に使用しないでください。
- 分解しないでください。廃棄の際は専門業者または記載されている電話番号にお問い合わせください。

##### ⚠ 警告

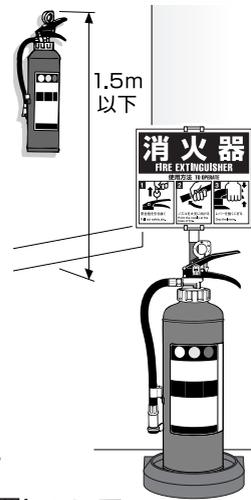
- 破裂の原因や人身事故のおそれがありますので下記の項目をお守りください。
- 半年毎に法令で定められた点検を行ってください。
- 製造後10年を過ぎたものは、耐圧試験圧力値による水圧試験を実施してください。
- 腐食しやすい場所、湿気の多い場所、潮風や雨風にさらされる場所に設置しないでください。
- 濡れた床や地面に直接置かないでください。
- 使用温度範囲を超える場所に設置しないでください。
- 人に向けて消火薬剤を放射しないでください。呼吸困難等の危害を引き起こす恐れがあります。
- 使用時には火元から3m以上離れてから放射を開始してください。近づきすぎると火傷の恐れがあります。
- 避難経路を確保しながら消火してください。

##### ⚠ 注意

- 消火器は初期消火の器具です。消火範囲には限りがあります。
- 試し放射はしないでください。使用できなくなります。
- 一度操作したものは、新品と交換または詰め替えを行ってください。
- 適応火災は、ラベルの表示マークと「取扱説明書」で確認してください。対象物によって適・不適があります。
- 排圧栓付きの器種は、キャップを開ける時に、排圧栓をゆるめ内圧を排圧してからキャップを開けてください。排圧が終われば、必ず排圧栓のネジを元通りに締め表示マークを貼り直してください。

### 4 設置について

- 簡単に倒れないようにして、目につきやすい場所の高さ1.5m以下に設置してください。
- 地面に直接設置すると、サビやキズが発生したり変形の原因になりますので、設置台または格納箱をご使用ください。壁掛け金具や設置台については、販売店または当社営業所にお問い合わせください。
- 消火器の転倒事故や誤放射を防止するために、幼児の手の届かない場所に設置してください。
- 重量物の落下などによる強い衝撃が加わらない場所に設置してください。



#### 「自動車用消火器」保持装置の設置について

設置の際は、必ず下記要領に従って設置してください。誤った方法で設置された場合、保持力が十分に発揮されずバンドが外れる恐れがあります。保持装置の設置は、必ずボルト・ナット（推奨ボルト\*又は同等以上の強度を有するもの）などで、全ての取付穴を使用して確実に固定してください。

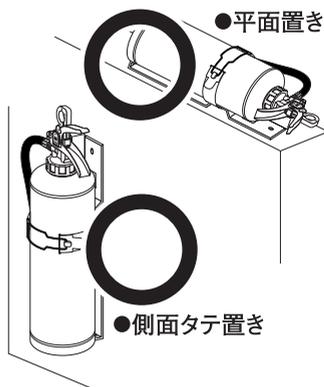
##### 1・設置方法

- 本製品は、下記のいずれかで取り付けてください。

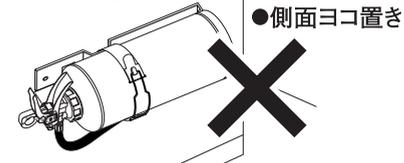
##### 2・取付注意事項

- 不安定な場所には、設置しないでください。
- 設置面の状態、取付ネジによっては十分な保持力を得られない場合があります。
- 保持装置を確実に固定していないと消火器の脱落や誤放出の原因となります。
- 全ての取付穴を固定しない場合、特定箇所に荷重が集中し脱落等の原因となります。

##### 正しい取付方向



##### 誤った取付方向



\*推奨ボルト  
AC4BL : M5サイズ  
AC10AL : M6サイズ

\*取付穴のピッチ・個数は、保持装置の変更により変わる場合があります。

### 6 使用上のご注意

### 7 全粉末（ABC）消火器にエコマーク付き



再生消火薬剤を60%以上使用  
回収およびリサイクルシステムを持つ

エコマーク付き消火器の生産では、2004年より累計200万本超の実績があります。さらに、環境により良い商品として官庁が定めたグリーン購入法にも適合しています。